

教科名	数学	週時間数	3時間	学年	2年
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「未来へひろがる数学2」（啓林館） ・ワーク「数学の学習ノート」（正進社） ・カラープリント「確認から発展へ」（学宝社） 				

教科のねらい	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して数学的な資質・能力を育成することを目指します。（事象の数学化、数学的解釈、数学的な表現・処理）（論理的に考察する力、考察する力、簡潔・明瞭、的確に表現する力を養う）</p>				
授業の進め方	<p>授業は、教科書の内容を中心に進めます。また、機械的な計算方法を反復練習によって習熟させ、例題を通して問題の解決策を見いださせるよう努めます。子どもたちが自ら学習したいと思うような仕組みづくりに努めます。途中の式や考え方・理由などを説明する場を設け、表現力を培います。</p>				
定期テスト	出題方針	教科書やワーク、カラープリントの内容に準じて、基本的な数学力を問う問題を出題します。また、応用問題の出題により、数学的な見方や考え方の習熟度を測ります。			
	範囲 (予定)	1学期中間	式の計算		
		1学期期末	連立方程式、一次関数		
		2学期中間	一次関数、図形の調べ方		
		2学期期末	図形の調べ方、図形の性質と証明		
		学年末	図形の性質と証明、場合の数と確率、箱ひげ図とデータの活用		
評価方法	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト ・授業の様子 ・長期休業明けの宿題テスト 			
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト ・授業の様子 ・長期休業明けの宿題テスト 			
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・単元レポート ・ノート ・ワークへの取組 ・単元テスト 			
学習方法 (先生からの アドバイス等)	<p>数学は積み上げの教科と言われます。（教科性）わからないままにして次の授業を迎えてしまうと、前回の知識や計算方法を使って新しい課題に取り組むため、またわからないが続いてしまいます。1回1回の授業を大切に、わからないことを少なくする努力をしましょう。また、定着するまで、ある程度の量をおこなうことも大切です。教科書の問題や、ワークを中心に演習を繰り返しましょう。</p>				

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	1. 式の計算	・式の加法・減法	・同類項をまとめる
	5		・いろいろな多項式 ・単項式の乗法・除法 ・文字式の利用	・分配法則を用いてかっこを外す ・文字式の計算と同じように計算をする ・文字式を用いて説明できるようにする。 ・文字式の有用性を感じることができる。
	6	2. 連立方程式	・連立方程式とその解 ・連立方程式の解き方 ・連立方程式の利用	・二元一次方程式の解の意味を理解する。 ・加減法・代入法の解き方を理解する。 ・連立方程式を利用して、いろいろな問題を解く。また解を吟味し問題にあっているかどうかを確認する。
	7	3. 一次関数	・一次関数	・表や式、グラフを通し一次関数の変化の様子を調べる。
9	・一次関数の値の変化 ・一次関数のグラフ ・一次関数の式を求めること ・方程式とグラフ ・連立方程式とグラフ ・一次関数の利用		・一次関数の変化の割合を理解する。 ・一次関数のグラフについて考察する。 ・（傾きと切片）（傾きと1点）（2点）の3つ方法で式をもとめることができる。 ・一次関数と同様なグラフになることを理解する。 ・グラフ上の交点を連立方程式を使って求めることができる。 ・式やグラフを活用し、よりよい判断ができるようにする。	
2	10	4. 図形の調べ方	・角と平行線	・同位角や錯角について理解できる。
11	・多角形の角 ・三角形の合同 ・証明とそのしくみ ・証明と進め方		・多角形の内角の和について理解できる。 ・仮定から結論を導きだす証明を丁寧にまとめることができる。 ・平行線の性質や三角形の合同条件を用い証明していく。 ・着目するところに注意して証明を進める。	

	12	5・図形の性質と証明	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形 ・直角三角形の合同 ・平行四辺形の性質 ・平行四辺形になるための条件 ・いろいろな四角形 ・平行線と面積 ・四角形の性質の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形の性質を理解する。 ・直角三角形の合同条件を理解する。 ・平行四辺形の性質を理解する。 ・平行四辺形になるための条件を理解する。 ・様々な四角形があり、それぞれの四角形を場合分けできるようにする。 ・形は違うが面積は同じ（等積変形）を有効に使えるようにする。 ・仮定の条件を変えるとどうなるのかを考える
3	1	6．場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の求め方 ・いろいろな確率 ・確率の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・場合の数をもとにして確率を求めることができる。 ・『同様に確からしい』という考え方を理解する。 ・不確定な事象をとらえ、他者に説明し確率の意味や必要性を理解する。
	3	7．箱ひげ図とデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・箱ひげ図 ・データを活用して、問題を解決しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ばらつきに着目し、最適解を選ぶことができる。 ・1つの視点だけではなく、様々な視点から批判的に考察することができる。